学校番号	１０１５

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	『改訂　新編生物基礎』（東京書籍出版）						
副教材等	『ニューサポート　改訂　新編生物基礎』（東京書籍出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な生物が存在しますが、それに共通することは私たちにも共通することです。ですから、生物を知ることは自分たち自身について知る・考えることだと思います。1 年間かけて、生物についての基本的な知識を身に付け、より自分の体についての理解を深め、まわりの生物に関心をもてるように頑張りましょう。

2　学習の到達目標

生物には多くの種類が存在することを認識し、生物に共通する細胞の構造や働きについて理解する。また、細胞の多くに共通するＤＮＡや、エネルギーとして利用されているＡＴＰについての理解を深める。そして、その細胞が作り出すヒトの体についての知識を増やし、日常生活との関わりを考えるために必要な科学的素養を高める。観察・実験を通して生物や生命現象に対する畏敬の念を育み、さまざまな生物や物質との関わりの中で生物が生きていることを理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象の関係に関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探求する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などをおこない、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	生物の特徴	生物の多様性と共通性	○				a:生物や細胞を比較し、意欲的に多様性や共通性を探し出そうとする。 b:エネルギー変換から、代謝の流れを考察し、それらの関係をまとめ表現することができる。 c:顕微鏡を用いて細胞を観察することができ、その結果を記録・整理することができる。 d:生命活動に必要なエネルギーや代謝について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		細胞にみられる多様性と共通性	○		○			
		生命活動を支える代謝				○		
		生体内のエネルギー変換		○				
前期期末	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造	○			○	a:多くの生物に共通する DNA に関心をもち、そこから意欲的に学ぼうとする。 b:DNA と RNA の関係をまとめ、タンパク質の合成過程を考察し、導き出した考えを表現することができる。 c:体細胞分裂の実験をおこない、その結果を記録・整理することができる。 d:DNA や遺伝子と生命現象の関係について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		細胞分裂におけるDNAの複製分配			○			
		DNAとタンパク質の合成		○				
		遺伝子の発現と生命現象				○		
後期中間	生物の体内環境の維持	体内環境と体液の循環	○				a:体内環境について関心をもち、意欲的に体内のことについて学ぼうとする。 b:自律神経・内分泌系の知識を関連させて、全体像を考察し、表現することができる。 c:腎臓の解剖実験をおこない、結果を記録・整理できる。 d:免疫について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		体内環境を調節する器官		○	○			
		自律神経系と内分泌系による共同作用		○				
		免疫のシステム				○		
後期期末	生物の多様性と生態系	植物の多様性と遷移	○			○	a:植物の多様性と遷移について関心をもち、そこから意欲的に学ぼうとする。 b:エネルギーや物質の循環を考察し、まとめて表現することができる。 c:生態系と物質循環について資料収集などをおこない、過程や結果をまとめ記録・整理できる。 d:遷移や多様性について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		生態系でのエネルギーと物質の流れ		○	○			
		生物多様性の保全				○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:　観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。